

平成 25 年第 10 回加西市教育委員会会議録

1. 開会日時 平成 25 年 10 月 22 日 (火) 13 時 30 分
2. 閉会日時 同 日 15 時 20 分
3. 開催場所 加西市役所 1 階多目的ホール
4. 出席委員 委 員 長 渡 邊 隆 信
委 員 内 藤 堯 雄
委 員 荒 木 貴 子
委 員 市 場 かおり

5. 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名

教育次長	後 藤 倫 明
教育総務課長	中 倉 建 男
学校教育課長	小 林 剛
文化スポーツ課長	深 江 克 尚
図書館長	柴 田 健 壱
総合教育センター所長	柿 本 博 司
こども未来課主幹	伊 藤 勝
教育総務課課長補佐	高 井 聡 子

6. 付議事項

議案第 39 号 加西市指定文化財現状変更許可の諮問について

7. 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8. 質問及び討議の内容

議案第 39 号 加西市指定文化財現状変更許可の諮問について

議案第 39 号 加西市指定文化財現状変更許可の諮問について、文化スポーツ課長より、文化財保護に関する条例第 12 条及び第 19 条の規定により、市指定文化財の現状変更許可について、物件の審議を文化財審議委員会に諮問したいので委員会の議決を求めるものと説明する。文化財の名称は満久町にある内藤家古庭園で、現状変更を必要とする理由は、植栽樹木の繁茂が進み、周囲の石垣に圧力がかかり崩落の可能性が大きくなっており、庭園

の形状保護のため石垣際の樹木整理を実施するためである。また、現状変更の内容は、石垣際に生えているカシ2本の伐採を行い、あわせて古庭園の実生の樹木等の整理も実施するというもので、工事は平成25年12月着手、平成26年1月完了の予定である。施工予定者はシルバー人材センターで、経費は約15万円を見込んでいと説明する。

教育委員より、文化財審議委員会に諮問した後、どのような流れになるのかとの質問があり、文化スポーツ課長より、文化財審議委員から諮問に対しての答申があり、その答申を受けて教育委員会として許可申請の可否を検討いただくこととなると説明する。

教育委員より、12月着手に向けては無理なくこの日程を進めるのかとの質問があり、文化スポーツ課長より、次回の定例教育委員会で承認いただける日程で文化財審議委員会を開催する予定であると説明する。

教育委員より、今回は規模が大きいので市が行うのかとの質問があり、文化スポーツ課長より、今回は指定している庭園の樹木の伐採ということで、除草とは異なる形状変更ということとなるので文化財審議委員会の答申を得てということとなると回答する。

教育委員より、この庭園は開放などの活用はあるのかという質問があり、文化スポーツ課長より、門の前には市指定文化財の表示はあるが、古い建物もあり気軽に入れる状態ではなく、将来的に現在の所有者がどのように活用していただけるかを含めて協議していくことが課題であると回答する。

教育委員より、場所はどこかとの質問があり、文化スポーツ課長より、満久町であると回答する。

以上をもって原案どおり承認される。

9. 議決事項

議案第39号 加西市指定文化財現状変更許可の諮問について

原案どおり可決

10. 報告事項

(1) 教育次長から

教育次長より、平成26年度の予算編成に関わり、市長部局全体で「平成26年度に予定する市長マニフェスト、総合計画（実施計画）に基づく事業及び新規事業、特徴的な事業の予定調査について」という調査があり、教育委員会として提出したものについて報告をする。

まず、教育総務課からは、富田小地震改築工事その他の教育施設耐震化事業、教育施設環境整備、校務用パソコン267台をリースに切り替えるという情報環境整備の3点を報告した。学校教育課からは、継続事業として「学校づくり応援事業」、個に応じたきめ細かな指導の充実をあげ、さらに、ALTの配置と外国語活動、英語科指導のスムーズな展開と支援、高校奨学金支給制度の拡充維持をあげた。こども未来課からは、幼保一体化を計画的に実施するとともに特色ある新たな幼保施設の整備に取り組む、安心して子育てができる施策を展開し子育て支援を充実するという2点をあげた。文化スポーツ課からは、一乗寺建造物防災施設事業、ぜんぼうグリーンパーク整備事業、勤労者体育センター耐震補強工事の3項目をあげた。総合教育センターからは、教職員のライフステージや専門分野に応じた研修の充実とより高度な専門的知識と技能の習得、青少年活動の活性化、いじめ対応加西市ネットワーク会議を中心としたいじめの未然防止・早期発見のための取組を報告した。最後に図書館からは、利用者の増加と市民に親しんでいただける図書館をめざし、「播磨国風土記 1300 年祭事業」関連事業、AVシステムの更新をあげたと報告する。なお、これらは予算編成前に予定調査として事務局が提出したものであり、先日通知された市全体の予算編成基本方針では5項目が掲げられ、教育委員会関係ではその5項目のうちのひとつとして、子育て支援の充実と教育環境整備があり、幼保の一体化と教育施設環境整備が大きな柱となっており、この予算編成方針に則りながら財務部に予算要望をしていきたいと説明する。

次に、10月25日には総務委員会があり、教育委員会関係では10項目の質問が予定され、主なものとして幼保統合計画と子ども子育て事業計画、エアコンやトイレ改修等の学校環境整備事業の進捗状況、オークタウン加西の利用状況と改修の進捗状況、総合教育センターのいじめ対応の取組についてなどがあると報告をする。

教育委員より、予算獲得のための機会をつくっていただけると思うが、要望として、ALTの配置と外国語活動に関連し、英語を楽しく学び話すことが出来る雰囲気をつくる小学校中学校の連携について、その取組を計画的にやっていただきたいと意見がある。教育次長より、ALTの配置は小学校でも実施しているが、幼稚園や幼児園にも入っていけないかという検討をしているところであると回答する。教育委員より、1年前と比較し、授業内容も良い形になっていると思うので、一層の努力をお願いしたいと述べる。

教育委員より、ALTの先生は個性的な授業をしていると思うが、特別な研修はしているのかとの質問があり、教育次長より、委託契約を結んでいるインタラックでの自主的な研修が主であるが、学校と連携した研修もある。また、小学校・中学校の担当と十分な打ち合わせを行い、学校からの要望もインタラックに伝えていると回答する。

教育委員より、「若者の手による、若者を育成する」とは具体的に何かとの質問があり、総合教育センター所長より、ジュニアリーダークラブが中心になり活動しているが、年々活動が縮小化しているという課題があり、若い世代のリーダーを養成していきながら健全育成や

地域の活性化につなげたいと回答する。具体的には、20年以上活動しているエンドレスという団体があるが、組織が縮小化している状況であると述べる。教育委員より、市からの助成金の状況はどうかとの質問があり、総合教育センター所長より、市からの補助金は出しているが、それに頼らず、自主的な財源をつくりながら、国や県の補助金の活用を視野に入れながら活動していると説明する。

教育委員より、一乗寺建造物防災施設事業の事業費は決まったものかとの質問があり、文化スポーツ課長より、平成24年度から3か年の計画で国に申請をして承認を受けた金額であるが、現在設計が終わり近く工事の入札が終われば若干金額の変更があると考えていると回答する。また、総事業費が200,000千円で、国が7～8割負担し、残りを一乗寺と県と市が3等分するかたちになると説明する。

教育委員より、情報環境整備について、予算上、高額な金額がかかるということかとの質問があり、教育総務課長より、平成21年度に国の情報教育交付金で購入した校務用パソコンで、切り替えの時期であることとXPのサポートがなくなるため、今回はリースで計上する予定であると回答する。

教育委員より、教育施設環境整備の防犯カメラを加西中学校に設置する理由について質問があり、教育総務課長より、平成22、23年の北条中学校の改築工事、善防中学校・泉中学校の大規模耐震補強と改修工事において防犯カメラを設置しており、加西中学校が設置できていない状況のため、今回設置すると回答する。暗渠排水についても、加西中学校がない状況のため、雨水貯水槽とともに設置したいと説明する。

教育委員より、「播磨国風土記1300年祭事業」関連図書を充実させたいということで、特色ある図書館づくりにも良いことであるが、将来的に加西市立図書館で風土記関係図書を充実させようという計画で行う見通しかとの意見があり、図書館長より、郷土資料にもなり、一括で購入後、買い増しで購入して充実させるということで考えていると回答する。

教育委員より、青少年育成が教育の重要な点であり、教育都市加西の実現の目玉として市当局と教育委員会が提携して青少年を育成していかなければならないと意見があり、教育次長より、次代を担う子供達の世代にいかに関育を促すかということであると思うが、教育委員会では、加西教育プランや教育の重点など、学校教育・社会教育の分野等の様々な形でアプローチし、市長部局では健康福祉部やふるさと創造部などと協力して考えていきたいと述べる。

(2) こども未来課主幹の報告

こども未来課主幹より、9月30日に子ども・子育て会議（第1回）を開催し、さらに、庁内の連絡会議として、担当課長が集まる同支援推進会議を10月10日に開催したと報告する。子ども・子育て会議は、近大姫路大学副学長である田中先生に会長を、兵庫教育大学

大学院准教授の石野先生に副会長をお願いしている。内容としては、子ども・子育て支援新制度について、加西市の保育と教育における現状、子ども・子育て支援事業計画作成に向けたニーズ調査についての案をそれぞれ協議いただいたと説明する。ニーズ調査については、0歳児から5歳児までの子どものいる家庭へのアンケートと、小学生の子供のいる家庭に配るアンケート案となっている。来年の9月に子ども・子育て計画の策定を完了したいと考え、それまでに5回の子ども・子育て会議を開催する予定である。第1回でアンケート等の協議をしたが、そのアンケートの回答を基に報告書を取りまとめ、反映させた形で、来年26年度に計画の骨子を組み立てていく。同時に、庁内の担当課長による子ども・子育て支援推進会議も併せて進め、委員と市担当課の連携を図りながら計画の策定を進めたいと説明する。

教育委員より、データに基づいたニーズ調査を行うのは良いことであると思うが、調査の依頼経路の方法とデータの入力集計分析方法について質問があり、こども未来課主幹より、0歳児から5歳児までの子どものいる家庭へのアンケートは1,200世帯分を送付、小学生への世帯へは800世帯を予定しており、送付方法は小学生と幼稚園・保育所に通われている場合は、学校・園を経由する方法で配布し、返信用封筒を同封して送付者が特定されないようにもしている、幼稚園や保育所に通われていない未就園の子供がいる家庭へは直接郵送すると回答する。配布時期は、11月初めより行い、2週間の返信期間で回収する予定である。データ入力集計については、こども未来課でアンケートを回収し、委託業者がデータの打ち込みと単純集計を行ったのち、さらに分析した最終的な報告を3月に結果として提出してもらおうと説明する。教育委員より、回収率を高めるために学校の協力も必要である。また、分析については2段階でするということで、何を知りたいかによって処理方法も違うと思うが、有効に使っていただきたいと意見がある。

教育委員より、子育て支援制度は良いことであると思うが、制度が子育てをするのではなく、親が子育てをすると考えるので、子育てを公共の者に任せてしまうことが無いよう親が理解し、制度が生きるようにしてもらいたいと意見がある。

教育委員より、計画記載事項として加西市が定める区域ごとに5年間の計画期間とあるが、この5年間の期間は指定があるのか、具体的に何年度からと決まっているのかとの質問があり、こども未来課主幹より、子ども子育て支援計画の計画目標年次が5年間と定めているため、この期間を区切って計画を作っていく、また、来年の9月に計画を作り、平成27年度が初年度となりここから5年間の計画となると回答する。

教育委員より、この計画が完了して市町村ごとの計画によって国からの支援が出るのかとの質問があり、こども未来課主幹より、その通りであると回答する。

教育委員より、加西市子ども・子育て会議の諮問の内容について質問があり、こども未来課主幹より、市長から会議の会長あてに、会議で考えてもらいたい内容を文書で伝えてあると説明する。その内容としては、幼稚園保育園の利用定員、保育所の規模に満たない託児所

等の施設の活用、これから作る計画の策定、計画の執行方法、その他子育て支援全般についての意見を出していただきたいことをお願いした。教育委員より、それに対していろいろな意見がでたのかとの質問があり、こども未来課主幹より、前は1回目のため、事務局からの説明が主であり、意見をいただくのは2回目以降になると説明する。

教育委員より、会長と副会長の任期について質問があり、こども未来課主幹より、2年の任期満了まで固定であると回答する。教育委員より、アンケート案を見て意見はあったかとの質問があり、こども未来課主幹より、その場で意見も出たが、2週間ほどの期間中で意見も頂いており、案からは内容も変わっていると回答する。

教育委員より、アンケート案の中にある配偶者とパートナーの違いについて質問があり、こども未来課主幹より事実婚の意味であると回答する。また、教育委員より、世帯調査数について質問があり、こども未来課主幹より、対象となる就学前の1,800世帯、小学生世帯の2,300世帯を全体の対象としてとらえ、必要数を計算して出した数字に余裕を持って決定したのが、各1,200世帯と800世帯であると回答する。

教育委員より、育児休業を取られている方の統計はあったかとの質問があり、こども未来課主幹より、就学前の方のアンケートで育児休業や短時間勤務制度について希望と現実の差を調べる形で質問を入れていると回答する。教育委員より、どのように活かされるのかとの質問があり、こども未来課主幹より、行政だけでは難しい面もあるが、各方面の機会を通じてアンケート結果について周知したり、関係機関に働きかけて改善の方法を啓発できたらと回答する。

(3) 教育総務課長の報告

教育総務課長より、教育施設耐震化事業等進捗状況について報告する。宇仁小学校地震改築工事は、内装工事中で出来高は70%であり、屋外環境整備工事は、遊具設置工事を行っている。北条学校給食センター建設工事については、施設名称が議会の議決を得て加西市北部学校給食センターに決まり、工事は足場を取り払い順調に進んでいる。泉中学校校舎耐震化工事では、内装工事を行っており、善防中学校北校舎耐震補強工事は、外壁工事中で1階から3階を使用している。宇仁小学校太陽光発電設備工事は、パネルを設置済みでモニターと配線が残っている。富田小学校地震改築工事設計委託、九会・富合小学校校舎耐震化工事、善防中学校体育館耐震補強工事設計委託は、実施設計を進めている。北条学童保育専用棟建築工事設計委託は、工事の入札事務中である。教育施設環境整備工事設計委託（その1）・（その2）については、空調設備・太陽光発電工事について入札準備中で、11月に契約の予定であり、トイレについても12月に契約を計画している。宇仁小学校環境整備工事は、空調機器の取り付け工事が終わっており、室外機と配管が残っている。泉中学校外構改修工事と、善防中学校外構改修工事は、耐震補強工事との調整があるが順調に進んでいると説明

する。

(4) 学校教育課長の報告

学校教育課長より、児童・生徒の学習、生活について報告をする。中学校3年生は、7月に部活動を終了し、受験のため頑張っており、中学校の部活動は、2年生を主体とした新人戦も無事終わった。小学校では、10月8日に加西市体育大会が北条小学校において開催され、天候にも恵まれ練習の成果を披露した。さらに、本日朝に、市内小学校11校が修学旅行に出発しており、奈良と京都に行く予定で帰校は明日の夕刻である。なお、欠席者が3名であったが、学校教育課としてもいろいろ配慮していきたい。10月の中旬以降より各校でオープンスクールを開催しており、学校を説明する機会であり、アンケート等の実施による外部からの意見もいただける場としたいと説明する。

次に、10月19日に兵庫教育大学と5市1町の連携講座として、兵教大の松村先生による「子どもの情動知能と社会性を育むために」と題した講座があり、教諭、保育士、PTA、市職員等150名余りが参加したが、子育てに関し良い講演であったと報告する。

続いて、教職員について、超勤が多くなっており、県教育委員会も業務改善を重点項目と位置付けているが、実働が減らない状況である。できるだけ学校業務改善を進めていきたいと説明する。

教育委員より、部活動の推進体制づくりに取り組むことと、実働時間の業務改善の関係性も話し合うのかとの質問があり、学校教育課長より、県の体育保健課を中心に部活動のあり方についての通知もあるが、ノ一部活デーの実施等、4中学校あわせて部活動のあり方について検討をしていけると回答する。また、保護者も子供と触れ合う時間をとっていただきたいと述べる。教育委員より、指導者側、生徒側両方の立場から話し合いが必要かと思うと意見がある。

教育委員より、加西中学校で午後のオープンスクールの参観に行ったが、以前にあった計画訪問のときと子ども達の様子が変わらず、計画訪問も自然体であったのだと感じられたと意見がある。

(5) 文化スポーツ課長の報告

文化スポーツ課長より、第47回加西市文化祭の開催について、各団体の協力のもと、11月2日の茶席といけばな展をはじめとして、8事業を行っていくと報告する。

続いて、特別展「播磨国風土記—加西に残る地名と遺跡—」について、加西市埋蔵文化財整理室で11月1日から11月30日まで開催すると報告する。風土記に関連して加西に多

くの地名が残っており、写真を交えて詳しく紹介しながら説明していくもので、姫路文学館所蔵の国宝播磨国風土記の複製品や出土遺跡を展示すると説明する。

教育委員より、播磨国風土記の特別展は子供にも観覧できる内容かとの質問があり、文化スポーツ課長より、全てにふり仮名が入られるかは未定であるが、出来るだけ小さい子供さんにもわかるよう配慮した説明文にしたいと回答する。

(6) 総合教育センター所長の報告

総合教育センター所長より、安全・安心のまちづくり市民大会について、11月22日19時から加西市健康福祉会館ホールで開催すると報告する。当大会は加西市民の警察官表彰や交通安全ポスター優秀者表彰等のあと、その年の事案に合った講演会を行うというものである。本年度は青少年健全育成にかかる講演会として、「LINE」等の危険性を多くの市民に知っていただくということで、兵庫県情報セキュリティサポーターの篠原嘉一氏を講師に迎え、初心者優しい内容で講演をお願いします。また、区長さんや各団体の代表者が多く参加されるため、地域でも啓発していただきたいと考えていると説明する。

次に、「インターネット等による犯罪・トラブル防止運動」作品展について、夏休みに小学校5年生から中学校3年生までの児童生徒を対象にして、子ども達自身にネットについての情報モラルやマナーを考えてもらう機会として、ポスター、標語の作品募集を行い、1,666点の応募があったと報告する。9月末に市内の先生が審査をし、52点を選出し、各学校で表彰を行ってもらった。また、11月7日から市役所玄関ロビーで12日間展示し、来週からは各学校持ち回りで1週間ごとに作品展示を行う。優秀作品については健全育成カレンダーに使用し、啓発につなげていきたいと説明する。

続いて、「サイバーパトロール」の幟について、市内のコンビニや学校周辺で約100本を設置していると報告する。市内全域での啓発と外部の悪意を持った人間への認識を持たせて犯罪抑止をさせることを目的としているが、1年経過で劣化もあり、今年度は健全育成連絡協議会から10万円を支出いただき、幟の布を140本と支柱を30本購入し、設置は補導委員連絡協議会にご協力いただくと説明する。

教育委員より、実態として中学生のLINEはどの程度の割合かとの質問があり、総合教育センター所長より、パーセントまでは不明であるが、中学生だけでなく小学生も使用しており、スマホのアプリやアイパッドタッチで使用していると回答する。教育委員より、それに関わる問題などの事案は出ているのかとの質問があり、総合教育センター所長より、今年度は2件程度の事案を受けているが、学校も早い段階で対応しており、継続指導の必要があるため学校ごとの研修会を実施していると説明する。

教育委員より、先日子供の高校でもLINEやツイッターの危険性について説明を受けたようであるが、子ども達の自覚を促す取組も必要ではないかとの意見があり、総合教育センター所長より、全国で518,000人がネット依存で問題になっており、規律ある使い方をする必要があるということで、学校で約束事をきめたり、いじめネットワーク会議でも自主的な取組を支援していこうとしていると説明する。

教育委員より、学校の中で子ども達が自主的に自分たちで話し合う時間は持っているかとの質問があり、総合教育センター所長より、クラスの中で話し合うことはしているが、生徒会が中心になってまでは至っていないと思うが、全市的な取組も考えたいと回答する。教育委員より、今の段階からの啓発等が大切であると意見がある。

11. 協議事項

なし

12. 教育委員の提案

教育委員より、地域の役員と話す中で、教育に関心を持つ方も多く、市民に迷惑がかからないよう、また、事務の停滞がないよう次長を中心に勤めていると説明していると述べる。

13. 今後の予定について

- ・ 第11回定例教育委員会 11月22日（金） 13:30～ 市役所5階大会議室
- ・ 第12回定例教育委員会 12月25日（水） 13:30～ 市役所5階大会議室

この会議録は、事務局職員が作成したものであるが、真正であることを認めここに署名する。

平成25年10月22日

出席委員

(出席委員署名)